

ふれあい通信 いづみ

平成28年4月15日発行

21号

発行

社会福祉法人 いづみ会
秋田市泉菅野二丁目17番11号
TEL.018-896-5880
<http://www.izumi.akita.jp>



地域と共に

流の場としての役割を通信は果たして来ました。少子高齢化が進み、福祉関連の課題は複雑で地域の方々が安心して生活したいというニーズは多面的、多様であります。社会の政治的、経済的、人々の精神的状況によってその課題の解決が左右されます。TPP（環太平洋パートナーシップ）は農業県としての秋田では大きな問題ですし、人口減少も県そのものの存亡にかかわり、若者の県外流出が問題となっています。私たちの福祉事業の展開も前記の課題に大いに影響をうけます。身近な安心安全な生活がどうしたら出来るかと言えばそう簡単ではありません。地域の方々と施設利用者、そして施設で働くものが2方向性に交流し叡智を結集することが必要です。施設の交流策划も大いに利用して頂きたいし、初心にかえつて、道で出あつた時には、あまり顔見知りでなくとも軽い挨拶を交わすことが日頃から出来る街中になつてくれればと念願しています。併せてこの通信がその一翼を果たすことができる様期待しています。

理事長 久保田 奉幸

- 特別養護老人ホーム ● ケアハウス
- メンテナントステイ ● 老人デイサービスセンター
- ホームヘルパー・ステーション
- ケアプランセンター
- 地域包括支援センター
- 保育所
- 障害者就業・生活支援センター
- 生活支援ハウス

ふれあい通信が発行されてから今
回で21号になります。

花の蕾もふくらみ、暖かな春の日差しが眩しく感じられる季節になりました。
昨年は、介護保険の介護報酬の改定があり、関連部署が努力した一年でした。新年度を迎えて、新体制の下、「いづみ会」の情報発信源として、新鮮な気持ちで明るく楽しい話題をお伝えしていきたいと思います。

社会福祉法人いづみ会は、10年
以上勤務された職員を永年勤
続表彰しています。今回は4名
の方が表彰されました。



地域ふれあいまつり

11月7日(土)、8日(日)の両日泉地区コミュニティーセンターにおいて「泉の文化祭」が開催され、会員の皆様が制作した「陶灯り」を出展しました。灯された光が幻想的に醸し出され、それぞれ個性ある「陶灯り」が会場全体の雰囲気を和ましておりました。また、7日(土)の初日には、いずみ竿燈会のお囃子がステージで演奏を披露しました。



10月18日(日)恒例とらずみ会の「第13回地域り」が開催されました。えいだろう栄駄朗様による落語や様の漫談」そして泉中学生徒の皆さんによる演奏でした。また、施設利用者の表示をはじめ、秋田県警察による「サギ被害にあわないと寸劇も披露され会場大きな笑いと拍手を頂きました。



ウェルビューいすみ
こども園



永年勤続表彰



いする1名の方が新成人となりました。各事業の利用者の皆さん、職員、こども園の園長、園児と、全員で温かな気持ちで会を進行させました。施設長と先輩利用者からの祝辞、新成人のウエルビューアイズみでの活動の上映、記念品贈呈、園児からの花束贈呈、本人の抱負発表と会は進み、最後は満面の笑顔で退場できました。アットホームな会となりました。終了後は同じ事業の気心の知れた仲間とお祝い膳を囲み、安堵した新成人でした。これからも、この様に皆さんのが充足感を味わえる活動を取り入れ、より良いセンターにしていきたいと思います。

「冬の動物園で気分一新」

が男性より積極的です。焼き上がった桜餅をお雛様に供えて皆

ウエルビュ－いすみ老人デイサービスセンター

桜餅は花の味

ディサービスでは、桃の節句（ひな祭り）ということで、レクリエーションに桜餅づくりを行いました。桜の葉の香りと、桜餅の桜色で一足早い春を皆様と一緒に味わいました。ホットプレートで色々な形に焼く係、あんこを丸める係、葉っぱを並べる係とそれぞれに分かれ桜餅づくりを

ウエルビューアイズみ障害者就業・生活支援センター

が男性より積極的です。焼き上がった桜餅を色々に供えて皆

「桜餅は花の味」
ウエルビューいすみ老人デイサービスセンター

立てのお茶の入った器を手に取り、「あれ、何回まわすのだつたかしら」と作法を一生懸命に思い出そうとされる方や、茶道のご経験のある方もおられ、職員の抹茶を点てる仕草をみたりと違う視点での楽しみを見出す場面も見られました。

「結構な御点前で」と抹茶をいただいた利用者さんからは、「ふうー」と安らかさを感じる一息が漏れ、温かな抹茶を通して早く春の訪れを感じたお茶会となりました。

など優しい音色が響いてました。知つてゐる曲は一緒に歌つたり、自然と鼻歌が聞こえてきたり、感動の涙を流す方もおられ、とても素晴らしい演奏会でした。マンドリン演奏の後は、お楽しみの寿司バイキングが行われました。寿司職人による握りの実演も真剣な表情で見学され、バイキングでは、いろいろな握りを目の前にし「美味しい」と喜んでいました。今年も季節の行事を入居者の皆さんと一緒に楽しみ、たくさんさんの想い出を作つていきたいと思ひます。

皆様の一 笑顔が 元気の源！

り組んでいきます。先日、「冬の動物園」を企画・寒い日でしたがが、天候に恵まれた動物園日和でした。みなさん動物園は初めてではありますんが「冬」は初めての方がほとんどで、スタッフ含め、良い大人達が童心に返つてはしゃいできました。参加者やスタッフ含め「仕事」も「作業」も大切ですが、時にはその事を忘れて過ごす「余暇」の大切さをあらためて実感した一日でした。

で「うれしいひなまつり」を歌い、少女時代を思い出し語り合いました。お雛様も喜んでいるようでした。

一口食べていたら、「なんておいしいの!」「お店で買ったみたい」「130円なら売れるんじゃない」などと、お褒めの言葉を頂き、毎年やっているレクリエーションですが、私達職員も喜びがこみ上げてきます。

デイサービスには、しばらくの間、春の香りが漂い、桜の花が咲く時期が待ち遠しい私達です。

た達が来てくれておかけで生活が成り立っている」「元気が出る」「ありがとうございます」とした。また「利用者の皆様の笑顔」が私達の元気の源になつていても改めて感じることができました。「訪問した時は必ず皆様の笑顔を頂く!」をモットーにサービスができるようになります。



皆様の「笑顔」が元気の源！
リンデンバウムいづみホームヘルパーステーション